



推薦入試 小論文・面接対策 講座

麻布大学 オープンセミナー (2014/10/05)

早稲田ゼミナール 医進塾

「出願理由書」のポイント

★「出願理由書」の内容が、合否の第1関門

【字数】○獣医学部： 30字/1行×56行＝1680字程度

○生命・環境科学部： 30字/1行×24行＝720字程度



本当に「この大学の学科に入りたい」なら、書きたいことがいっぱいあるはず（と、大学の先生は考える）。「なるべく字数めいっぱい」に書こう！

【内容】



「出願理由書」で必要になるのは「文章力」ではなく、「将来への夢」「大学への熱意」をはっきり「具体的に示す」こと。

○各学科を卒業して将来就く「仕事の中身」を知ることが、「出願理由書」の中の「本学科を志望する動機となった背景」を書く上で参考になる。

○その仕事を、社会的意義（「どういう点で世の中に役立つのか」ということ）の面から考える。

○面接で最も聞かれるのが「出願理由書」の内容。「このことを書いたら、面接で何を聞かれるか」も想定して記す。

小論文のポイント

★基本的な文章作能力は必要だが、①「出題の意図」をどれだけ正確につかめるか、②出題のテーマに関わる「知識」を踏まえて、③妥当な見解(個性的である必要はまったくくない)を示せるかがはるかに大切！

■獣医学部



「獣」「医」「学」に関して、最近話題になっていることについての知識や考えを深めておこう！

○「獣」＝動物

(テーマ：人と動物との共生、動物実験、生物多様性、環境保護・環境保全、食物連鎖、畜産業の現状、人獣共通感染症、温暖化・気候変動と動物との関わり、過保護による健康被害ナド)

○「医」＝医療

(テーマ：医療事故とその予防策、予防医学、生命倫理、遺伝子治療・遺伝子工学、再生医療、インフォームドコンセント、アニマル・セラピー、薬漬け医療、医療のネットワーク化、最先端医療、救命救急医療、トリアージ、医療の質と医療費ナド)

○「学」＝学問・研究

(テーマ：「勉強」と「学問」との違い、基礎研究と応用研究・臨床との関係、学問の体系化、他分野の研究との関わり、「学問の進展」の意味、専門家・学者の社会的責任、専門家・学者の説明責任ナド)

■生命・環境科学部



志望学科に関わる、近年問題になっていることや将来就く仕事についての知識や考えを深めておこう！

○臨床検査技術学科

(テーマ：「健康」とは何か、「診断」と「治療」との関わり、高齢社会と医療、「命」の尊厳ナド)

○食品生命科学科

(テーマ：世界の人口増加と食糧問題、先進国と発展途上国との食糧問題、高齢社会と食との関わり、生活習慣病と食ナド)

○環境科学科

(テーマ：環境保全と経済発展、温暖化と環境破壊、都市の環境問題、地産地消、環境問題における南北問題ナド)

★志望する学科に関係することで、近年、社会で問題になっていることを調べておこう！

(『朝日キーワード事典』『現代用語の基礎知識』などを見よう。)

面接のポイント

★細かいマナーを過度に気にしない。「何を尋ねられたか」「それについて、何を言ったらいいか」こそが大切！

★事前に答えることを「丸暗記」するのは好ましくない。予想される質問について答えたいことは、「そのポイント」だけはしっかり銘記しておくこと！

★まずは、自分が書いた「出願理由書」について、質問が予想されることは何かを考える。

★志望する学科の内容(どんな講座があるのか・どんな研究室があるのか・何を専門にしている先生がいらっしゃるのか) について、きちんと理解すること。「出願理由書」の内容と志望学科とはきちんとマッチしている？

早稲田ゼミナール 医進塾

〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-24-13

(早稲田ゼミナール 高田馬場校内)

TEL〈医進塾直通〉03-3205-4308

FAX 03-3205-1944

URL:<http://www.ishinjuku.ac.jp>